

感 雜 丁 園

2

人間の偉大さを知るものゝみが、人間を教育することの偉大さを知り得る。

人間に關する淺薄卑俗なる解釋、人間に關する無知と無感激。これ程教育上有害なるものはない。凡庸主義は、いつつても魔睡劑である。教育に於ては殊にそうである。世にこれ程有善なるものはない。

自分於て、人間の偉大さを信じ得るものは、最も幸福である。古今の偉人天才に於て、人間の偉大さを見出し得るものは、其の次に幸福なる人である。其の人は、人間がどこ迄偉大であり得るかを事實によつて證明せられて、それによつて絶えず感激を與へられて、人間に對する事實に基く信念と感動とを以て人間を教育することが出来る。

人間の偉大は、必ずしも完全と同意義ではない。常に完全をのみ求むるものは、人間の中に完全を見出し得ないのみならず、人間の中に偉大さをも見出し得ないかも知れない。どうせ人間の偉大さは不均等な、非中庸中にある。それでいゝ。小さい微温的な弱々しい完全程偉大でないものはない。

子供を偉大なものに拵へようといふのではない。此の子供が偉大なものになることを信じて教育するのである。

此の子が日蓮になるかも知れない。此の子がベートーベンになるのかも知れない。私は驚き後さりして其の子供を見る。其の時私の目は、日蓮やベートーベンに於て見て知つて居る人間の偉大さを以て子供を見て居るのである。私が之等の偉大なる人間に就なかつたであらう。斯く迄積極的な見方を以て、此の子供達を見ることは出来なかつたであらう。私に於て子供を知り、教育學によつて子供の教育法を學ぶ他に、絶えず人間の偉大さを知らなければならぬ。絶えず心に其の感激を滲えて居なければならぬ。そうでない時、私の目は子供に於て凡庸だけを見るものとなるであらう。(倉橋生)